

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-174013
 (43)Date of publication of application : 13.07.1993

(51)Int.Cl. G06F 15/20

(21)Application number : 03-343004 (71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

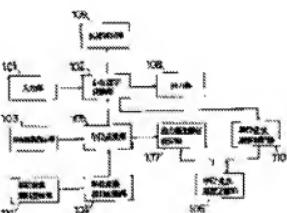
(22)Date of filing : 25.12.1991 (72)Inventor : SUMI FUMIO

(54) METHOD AND DEVICE FOR KANA/KANJI CONVERSION

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a KANA(Japanese syllabary)/KANJI(Chinese character) converter which can convert an inputted numeric character containing a unit into another desired numeric character containing a unit by providing a unit converting part.

CONSTITUTION: The Japanese reading is inputted through an input part 101 and then converted into a KANJI-KANA sentence through a KANA/KANJI converting part 102. Then a conversion rule used for the unit conversion is obtained from a unit conversion rule storage part 104, and the unit conversion is carried out at a unit converting part 105. An output priority deciding part 107 refers to a unit selection history storage part 106 to rearranged the unit conversion candidates based on their priority. Then an output part 108 outputs the conversion result, and a candidate selecting part 109 selects a conversion candidate. This selected candidate is stored in the part 106 through a unit selection history updating part 110.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 17.03.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 29.02.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(10)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-174013

(13)公開日 平成5年(1993)7月13日

(51)Int.Cl.
G B 6 F 15/20識別記号
5 2 8 A 0798-5L

F I

技術表示箇所

(21)出願番号 特願平3-343004

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市人字門真1006番地

(22)出願日 平成3年(1991)12月25日

(72)発明者

舟 史夫

大阪府門真市人字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(74)代理人 弁理士 中島 司朗

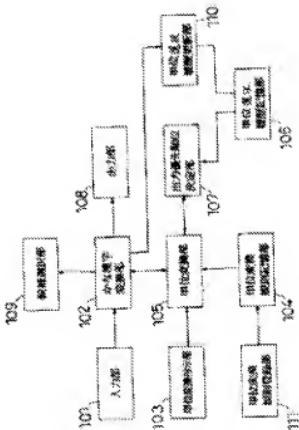
審査請求 未請求 請求項の数 8(全 8 頁)

(54)【発明の名称】かな漢字変換方法およびその装置

(57)【要約】

【目的】 単位付き数字を単位の異なる他の単位付き数字に変換する単位変換装置を設けることにより、単位付き数字を入力後、単位単位と単位付き数字に換算することができるかな漢字変換装置を提供することを目的とする。

【構成】 入力部101で日本語の読みを入力し、かな漢字変換部102で漢字がなじりやすく変換し、単位変換部104より単位変換後に出いる単位換算を得て単位変換部105で単位変換を行ない、出力部106を参照して単位変換部107で単位記憶部108を参照して単位変換結果を優先順位にしたがって並び替え、出力部109で変換結果を出力し、異種機間部109で保持され、選択された単位を単位選択部110で単位選択部110で単位記憶部108に記憶する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 漢字文字列を漢字かな交じり文字列に変換するがんばる漢字変換方法において、

漢字文字列に含まれる単位付き数字に対して、前記の単位変換規則に基づいて変換を行い、単位の異なる単位付き数字の変換結果を生成する単位変換結果生成ステップと、

上記単位変換ステップで得られた結果を出力する出力ステップを有することを特徴とするがんばる漢字変換方法。

【請求項2】 漢字文字列を漢字かな交じり文字列に変換するがんばる漢字変換装置において、

読み文字列に含まれる単位付き数字に対して、前記の単位変換規則に基づいて変換を行い、単位の異なる単位付き数字の変換結果を生成する単位変換結果生成ステップと、

上記単位変換ステップで得られた結果を出力する出力ステップを有することを特徴とするがんばる漢字変換方法。

【請求項3】 上記記述単位変換結果生成手順は、オペレータの単位変換規則に応じて、単位変換装置を生成する手順と、

上記記述単位変換結果生成手順と並んで、単位変換装置を生成する手順とを繰り返すことを特徴とするがんばる漢字変換装置。

【請求項4】 上記記述単位変換結果生成手順は、オペレータの単位変換規則に応じて、単位変換装置を生成する手順と、

上記記述単位変換結果生成手順と並んで、単位変換装置を生成する手順とを繰り返すことを特徴とするがんばる漢字変換装置。

【請求項5】 上記出力スタイルで出力された結果を換算結果の選択を受け付ける新規選択オプションと、

上記記述単位変換結果生成手順による単位変換装置の選択規則を記述する単位選択規則を含むステップと、

上記記述単位変換結果生成手順と並んで複数の単位変換規則が生成された場合に、上記単位選択規則記述ステップにおいて記述された単位変換規則の選択規則に基づいて、単位変換規則の出力の優先順位を決定する出力優先順位決定手段と、

上記記述単位変換結果生成手順と並んで複数の単位変換規則が生成された場合に、上記単位選択規則記述ステップにおいて記述された単位変換規則の選択規則に基づいて、単位変換規則の出力の優先順位を決定する出力優先順位決定手段とを組み立てることが特徴とする請求項2記載のかんばる漢字変換装置。

【請求項6】 上記記述単位変換規則を登録する登録規則回数等ステップを有することを特徴とする請求項1記載のかんばる漢字変換方法。

【請求項7】 上記記述単位変換規則を登録する登録規則回数等ステップを有することを特徴とする請求項1記載のかんばる漢字変換方法。

【請求項8】 上記記述単位変換規則を登録する登録規則回数等ステップを有したこととを特徴とする請求項2記載のかんばる漢字変換装置。

上記記述単位変換規則を登録する登録規則回数等ステップを有したこととを特徴とする請求項2記載のかんばる漢字変換装置。

【請求項9】 上記記述単位変換規則を登録する登録規則回数等ステップを有することとを特徴とする請求項2記載のかんばる漢字変換装置。

【請求項10】 上記記述単位変換規則を登録する登録規則回数等ステップを有したこととを特徴とする請求項2記載のかんばる漢字変換装置。

【明細の詳細な説明】

【00001】

【請求項の範囲】 本発明はワードプロセッサ等に適用されるがんばる漢字変換方法およびその装置に関するものである。

【00002】

【従来の技術】 既に、ワードプロセッサ等において、日本語の読み文字列を入力し、漢字かな交じり文字に変換するがんばる漢字変換装置が広く利用されている。國では既来のがんばる漢字変換装置の標準規格である。國内において、601は火力部、日本語の読み文字列を入力するものである。

【00003】 602はかんばる漢字変換部で、火力部601で入力された日本語の読み文字列を漢字かな交じり文字に変換するものである。603は火力部で、かんばる漢字変換部602で変換された結果を出力するものである。604は結果選択部で、出力部603で出力された結果より1つを選択するものである。

【00004】 601は日本のうなぎの日本語入力法数値の動作化以下に説明する。

(1) オペレーターによって入力部601に対して、日本語の読み文字列が入力されると、

(2) かんばる漢字変換部602は入力部601で得られた読み文字列を漢字かな交じり文字に変換する。

(3) 出力部603はかんばる漢字変換部602で変換された結果を出力する。

(4) オペレーターが出力部603で出力された結果から選択するがんばる漢字を新規選択部604によって選択する。

【00005】

【発明が解決しようとする課題】 しかししながら上記のような従来の装置では、例えば商品の価格を単位の単位のわりにランクの順位で表示とした場合のように、入力された単位付き数字を他の異なる単位付き数字に変換するには、オペレーターが、先ず「平行」を監視窓「フラン」に表示してから価格結果を入力しなければならない。このため、單位を変換するための計算を並行して手間がかかり、もろもろ、計算の誤謬で誤りが生じる可能性もあるという困難が生じた。

【00006】 本発明は上記問題点に鑑み、オペレーターの手を煩わせることなく操作に、人力された單位付き数字を、他の異なる単位の単位付き数字に変換するがんばる漢字変換装置とその方法を提供することを目的とする。

【00007】

【課題を解決するための手段】 本目的を達成するためには、請求項1の発明は、読み文字列を漢字かな交じり文字列に変換するがんばる漢字変換方法において、読み文字列に含まれる単位付き数字に対して、前記の単位変換規則に基づいて変換を行い、単位の異なる単位付き数字の変換結果を生成する単位変換装置を生成ステップと、上記單

位更換。チャップで得られた筋袖を出力する出力スイッチを有することを特徴とする。

【0008】請求項2の発明は、読み文子列を複数個持つから少し又专利に記載するから請求項1記載の箇において、読み文子列に含まれる単位を何枚か枚数で記して、単位の単位枚数を基に、何枚で変換を行き、単位の異なる単位枚数を放しの変換紙袖を生成する単位変換紙袖生成手段と、上記単位変換紙袖を又手段で得られた紙袖を出力する出力手段を纏めたことを特徴とする。

【0009】請求項2の発明は、請求項1記載のかかる漢

子後換手圧において、上記単位変換規則生成ステップは、オペレータの単位変換規則に基づいて、単位変換規則生成を生成するステップであることを特徴とする。請求項4の発明は、請求項2記載の左を添削子後換手圧において、上記単位変換規則生成手続は、オペレータの単位変換規則に基づいて、単位変換規則を生成する手段であることを特徴とする。

【9.1.1.6】請求順位の割合は、請求順位割合の分から請求事由において、上記出力タグノードに出力された順位を変換順位の値を生じて続ける選択順位タグと、上記高単位変換順位タグによっての単位変換順位の選択順位を割り当てる上記変換順位選択リストと、上記単位変換順位生成タグで複数の単位変換順位が生成された場合に、上記単位変換順位生成タグに付いて認証されると甲段変換順位の復数順位に基づいて、単位変換順位の付与の先頭順位を法値する扭力級順位決定タグとを有することを対象とする。

【001】請求項の便用性：請求項2記載のものと同様実施範囲において、上記出力手段で実行された車輪駆動制御機器の選択を受け付ける機械搬送手段と、主制御装置搬送手段と、車輪駆動制御機器を構成する車輪駆動装置搬送手段と、上記車輪駆動装置搬送手段で搬送の車輪駆動装置が生成された場合に、上記車輪駆動装置搬送手段によって搬送された車輪駆動装置の搬送搬送手段に従事して、車輪駆動装置の出力の車輪駆動装置を固定する出力搬送搬送手段とを繋ぐことを特徴とする。

【6.1.2】品水町7の使用権は、品水町1地権のからの権利変換権をもつて、上記権利の半権変換権を申請する。半権変換権申請登録ナシを有することを特約とする。新規登録の使用権は、品水町2地権のから権利変換権を有することを特約とする。上記権利の半権変換権を申請する半権変換権登録手続を備えたことを特約とする。

[0013]

【作用】請求項1の発明によれば、半位矢突起装置を成すタップでは、読み文字列に含まれる半位付き数字に対して、確定的半位突起装置に基づいて検査を行わし、半位の異なる半位付き数字の変換装置が生成される。

【0014】出方システムでは、上記申報変換スケップで割り込まれた機種が利用される。請求項2の範囲によれば、該機種変換機能は本機種、該機種変換機能が各機種

以付き数字に変して、既定の単位変換範囲に基づいて変換を行い、単位の異なる単位付き数字の変換結果を生成する。

【10.1.5】出力予算は、下記単位変換機能生成手段で得られた結果を出力する。結果項目にすれば、請求項1記載の単位変換機能生成システムでは、オペレータの基準変換率指定期に応じて、單位変換機能が生成される。請求項4の聲明にすれば、該予算と該単位の分類別変換機能の単位変換機能生成手段は、オペレータの組合せ変換指定期にて単位変換機能を生成する。

【0015】請求項15の発明によれば、請求項1記載のかかみ床式愛染方法において、転位選択ノットタイプでは、上記耐震力ステップで拘束される單層愛染経緯の選択が受け付ける。単位選択駆動化層ステップでは、上記駆動転位選択駆動化層ステップによる耐震変換転位の選択過程が記述される。

【Q1.17】相方優先接続決定ステップでは、上記接続変換候補生成ステップで複数の相対変換候補が生成された場合、どの接続候補が優先的に選択されるか?

【0018】請求項7の発明によれば、請求項1記載の的な透す透徹方法において、学級変換規則登録ステップでは、1.認証用の革新変換規則が登録される。請求項8の発明についてでは、請求項2記載の的な透す透徹方法において、学級変換規則登録手順が上記認証用規則を挿入する。

100101

【実例】以下本発明の一実施例のかな漢字表記装置について、構造を説明しながら示説する。図1は本発明の一実施例におけるかな漢字表記装置構成を示すものである。図1に示すと、110は入力部で、日本語の読み文字列を入力するものである。

【10026】1002はがん漢字表示部で、入力用101で得られた読みえ字列を漢字の表示、表示に変換するものである。1003は動作選択部で、オペレータによって単位選択操作がなされた場合、確定するか選択部1001を起動するものである。1004は単位選択操作部で、例えば図3に示すように、図示部後の方の各要素部が記述されており、選択操作の検査度が(確
認度)0.0001~0.9999の間で、0.0001未満の場合は、各要素部の表示が消され、0.9999以上の場合は、各要素部の表示が強調される。

定されるようになっている。

【0021】10.5は単位変換部で、単位変換規則記憶部10.4から単位変換の実施規則を得て、かの漢字変換部10.2で得られた候補に含まれる単位付き数字を単位の異なる単位付き数字に変換するものである。10.6は単位選択履歴記憶部で、選択する候補選択部10.9で選択された単位が記憶されているものである。

【0022】10.7は出力変換規則決定部で、単位選択履歴記憶部10.6に記憶された情報を応じて、単位変換部10.6で実施された候補の優先順位を決定するものである。10.8は出力前で、出力優先順位決定部10.7で決定された優先順位に基づいてかの漢字変換部10.2、および単位変換部10.5で得られた候補を出力するものである。

【0023】10.9は算術演算部で、出力部10.8で出力された候補から1つを選択するものである。11.0は単位選択履歴記憶部で、算術演算部10.9で選択された単位を単位選択履歴記憶部10.6に記憶するものである。11.1は単位変換規則記憶部で、オペレーターによって入力された単位変換のための実施規則を単位変換規則記憶部10.4に登録するものである。記憶されている変換規則の内容の変更、および新たな変換規則の作成を行ふものである。

【0024】前述のように構成された本実施例のかな漢字変換実験の動作を図2アフロードマークを用いて以下に示す。以上のようにより構成された、本実施例のかな漢字変換実験において、具体的な動作として、「本日のレートに従いますと、1,200円になります。」とまた、商品は3,500円の内2,000円で計算され読みえ字押入を入り、内の単位の代わりにプランの単位が用いられる漢字かなで入力され、同時に実施する場合の動作を説明する。

【0025】ここで、単位変換規則記憶部10.4には、既に変換規則記憶部10.1により、図3のよう 「1,000円→1ドル」と「1,000円→1プラン」が登録されているとし、単位選択履歴記憶部10.6には、図4(4)のようないくつか記憶されていないとする。

(1) 先ず、オペレーターによって入力部10.1に計し、読み文字列「ほんとつれいにしたがひますと。1,200円んじて3,500」と入力されるが、入力部10.4はこれを受け付け(8.1、図5(8))。

(2) かの読み文字列は10.2段、「本日のレートに従いますと、1,200円になります。」と実施する(8.2、図5(8))。

(3) オペレーターによって、円をクリアに変換するための単位変換部10.3に対して単位変換操作の操作がなされる(5.3)。

(4) 単位変換部10.3は、単位変換規則記憶部10.4を参照し、変換規則「1,000円→1ドル」を2.2段=1プランと得る。入力された単位付き数字「1,200円」に対して、単位変換規則記憶部10.4内の優先順位に

従い「円→ドル」と「円→プラン」の順位を打な(4、図6(ドル))と「5.4プラン」の順位を得る(5.4、図5(5))。

(5) 出力優先順位決定部10.7は、単位の出力の優先順位を決定するため単位選択履歴記憶部10.6を参照する。この優先順位を決定する際に、単位選択履歴記憶部10.6に記憶された単位の中で、最も新しい使用された単位を優先度が高いものとして出力の優先順位を決定する。また、単位選択履歴記憶部10.6に記憶されていない場合は、単位変換規則記憶部10.4内の優先度に従つた単位変換部10.5の実施結果のままの順位とする。

【0026】そこで、単位選択履歴記憶部10.6の内容は図4の(4)に記憶されるうえ、単位選択履歴について何も記憶されていない場合には、単位変換部10.5で記憶されたままとする(5.5)。

(6) 出力部10.8は、出力優先順位決定部10.7で決定された優先順位に従つて、最初に「本日のレートに従いますと、3,500円になります。」と出力する(5.6、図5(6)(U))。

(7) 両側の単位に変換された候補を得るために、オペレーターによって算術演算部10.9で「5.4プラン」の候補が選択される(5.7、図6(5))。

(8) 単位選択履歴記憶部10.1は、選択した「円→プラン」を単位選択履歴記憶部10.6に記憶する(5.8)。この時、単位選択履歴記憶部10.6の内容は図4の(8)となる。

(9) 続いて、入力部10.1に対し、読み文字列「また、商品は3,500円です。」と入力される(5.9、図5(9))。

(10) また、商品は3,500円と入力されると(5.10)、(11) 単位変換を打ちため。オペレーターによって単位変換規則部10.3に対して単位変換操作がなされる(5.3)。

(12) 単位変換部10.5は、上記(4)と同様に単位変換規則記憶部10.4を参照し、変換規則を得て、単位付き数字「3,500円」を「1ドル」と「1プラン」に変換する(5.11、図5(11))。

(13) 出力優先順位決定部10.7は、単位選択履歴記憶部10.6を参照し、「円→プラン」の順位を得る。手先部の読み順序(10.5)順に、「円→プラン」、「円→ドル」となり、単位変換実験の順序を優先順位に従い、「1,000円→1ドル」と「3,500円→1プラン」を決定する(5.12、図5(12))。

(14) 出力部10.8は「また、商品は3,500円です。」と出力する(5.13、図5(13))。

(15) オペレーターによって算術演算部10.9で「3,500プラン」が選択されると(5.14)。

(16) 単位選択履歴記憶部11.0は、選択された「円→

8】

【1.7】一方、単位変換をしない場合は(5.3)、かな漢字変換部103における変換結果が抽出されると(5.6)、変換結果が複数ある場合は1つの結果を選択し(5.7)、選択された結果の内にある単位、この場合は平仮名のを一括で読みますと、1を1円になります。ままで何が単位変換記憶部に記憶される。

(おわり)また、単位変換規則部の登録例は、オペレータによって単位変換規則登録部11より単位変換結果が入力されることによって、単位変換規則記憶部104に単位変換規則が記憶される。

【0.9.7】以上のようすに本実施例によれば、単位変換部を通過する上により、人力的に単位変換が可能となる、単位変換のための計算する手間が省け、さらに、単位変換の発生する系を聞くことが可能となる。また、単位変換規則や部屋を渡ることにより、単位変換規則記憶部内に既に記録されている変換規則の内容の変更が可能となり、為替といつた、変換する単位に応対することができる。さらに、算出する累積規則を構成することができる。また、単位変換規則記憶部と単位変換規則更新部ととの連携により、既存の既存規則をもともと新しい規則と交換することができる。また、既存規則が既存規則更新部では、単位変換規則記憶部に記録されている単位規則部の内に該当の出力の既存規則を決定するとしたが、単位精度の高さや、使用頻度の高さと使用難易度と両方を考慮して該当の出力の既存規則を決定することも可能である。

【0.9.8】また、本実施例では、単位変換規則部を経由してオペレータがオペレータが変換規則の変更、および作成時に記憶規則を変更することにより優先度を設定することができます。また、既存規則更新部では、単位変換規則記憶部に記録されている単位規則部の内に該当の出力の既存規則を決定するとしたが、単位精度の高さや、使用頻度の高さと使用難易度と両方を考慮して該当の出力の既存規則を決定することも可能である。

【0.9.9】さらに、人入力部では、単位変換規則部を経由してオペレータにより単位変換の要件の外れた場合のみ単位変換を行なうとしたが、當時単位変換部に対しても単位変換を行ない、単位変換された結果を出力部に出

力して、かな漢字変換装置を対象に選択し得るように構成して下さい。

【0.9.10】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、単位変換手順等を設けることにより、単位変換装置を入力後、他の手順に変換できません。単位変換装置の入力ごとに単位変換のための計算を行なう必要がなくなり。算出なく入力を行うことができ、さらに単位変換の複数での計算等の負担を軽減することができます。これはより、操作性がよく、正確な単位変換を行うことができます。また、単位変換規則記憶部を渡ることにより、既存の単位変換規則記憶部に単位に対しても柔軟に対応することが可能となる。

【技術的貢献の説明】

【図1】本発明にかかるか、実施例のから漢字変換装置の構成を示すものである。

【図2】四動作説明のためのフローチャートである。

【図3】同一単位変換規則部に複数の記憶内容を示すものである。

【図4】四単位変換規則部に内部の記憶内容を示すものである。

【図5】同一の漢字変換装置の動作を示すものである。

【図6】底面のかな漢字の変換装置の構成を示すものである。

【符号の説明】

1.0.1 人入力

1.0.2 かな漢字変換部

1.0.3 単位変換規則部

1.0.4 単位変換規則部記憶部

1.0.5 単位変換部

1.0.6 単位変換規則部記憶部

1.0.7 出力部先頭の決着部

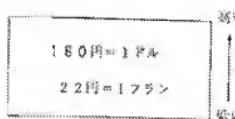
1.0.8 山形部

1.0.9 変換規則部

1.1.0 単位変換規則部記憶部

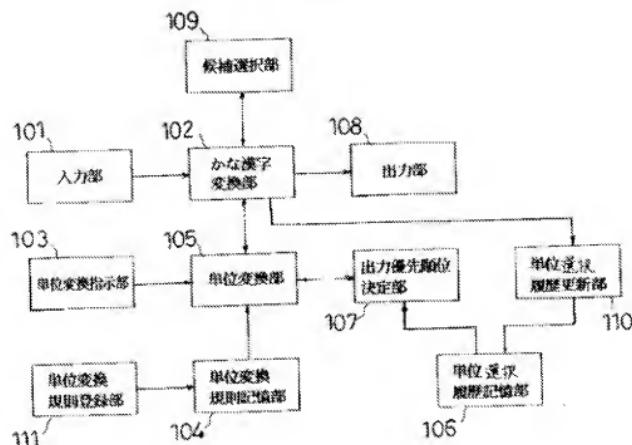
1.1.1 単位変換規則部記憶部

【図3】



104 単位変換規則部

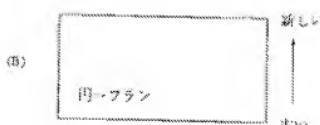
【図3】



【図4】

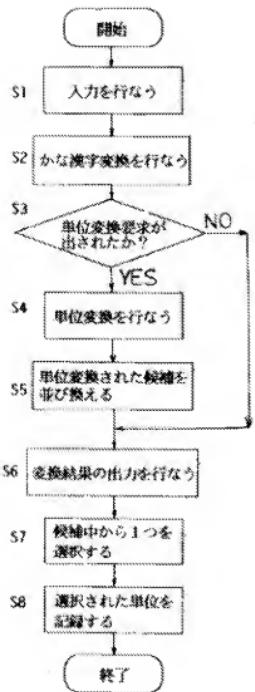


106 単位登録履歴記憶部

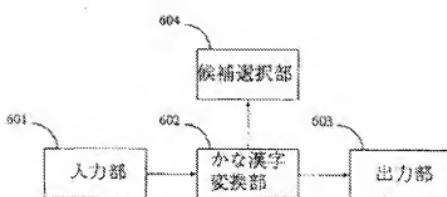


106 単位変換規則記憶部

【図2】



【図6】



【図5】

	(A)				
入力文字列	ほんじつのれーとにしたがいますと、1200えんになります。				
	(B)				
後換結果	本日のレートに従いますと、1200円になります。				
	(C)				
系統実物結果	本日のレートに従いますと、 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>6</td><td>ドル</td></tr><tr><td>54</td><td>フラン</td></tr></table> になります。	6	ドル	54	フラン
6	ドル				
54	フラン				
	(D)				
出力	本日のレートに従いますと、 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>6</td><td>ドル</td></tr><tr><td>54</td><td>フラン</td></tr></table> になります。	6	ドル	54	フラン
6	ドル				
54	フラン				
	(E)				
後換送入された結果	本日のレートに従いますと、 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>54</td><td>フラン</td></tr></table> になります。	54	フラン		
54	フラン				
	(F)				
入力文字列	また、しょうひんは3500えんです。				
	(G)				
数据結果	また、商品は3500円です。				
	(H)				
単位変換結果	また、商品は <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>19</td><td>ドル</td></tr><tr><td>159</td><td>フラン</td></tr></table> です。	19	ドル	159	フラン
19	ドル				
159	フラン				
	(I)				
後換結果を戻す結果	また、商品は <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>159</td><td>フラン</td></tr><tr><td>19</td><td>ドル</td></tr></table> です。	159	フラン	19	ドル
159	フラン				
19	ドル				
	(J)				
出力	また、商品は <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>159</td><td>フラン</td></tr><tr><td>19</td><td>ドル</td></tr></table> です。	159	フラン	19	ドル
159	フラン				
19	ドル				